

当院の加島隆徳先生が上海で開かれた医療交流会にて講演を致しました。



現在、上海市内に上海彩波健康科技有限公司という治療院が在り、趙麗露先生が院長として色彩治療を積極的に行っており、その成果が称えられ、名誉ある中国金融信息中心で講演する機会が与えられました。趙先生の招待を受け、共同講演する形となりました。15分という短い講演の中で、素晴らしい医療として評価していただき、その証として石碑が授与され、中国全土において認可された医療院として選ばれました。

また総勢230名が来場されマスコミ関係者が30名程来場されており、15分の講演は中国全土に生放送され、次の日の新聞にも掲載されました。その後40分程のデモンストレーションがあり色彩治療に興味を持った方が多く見受けられました。



日時：2016年7月8日 金曜日
13:30～16:30
場所：中国金融信息中心(上海庁)

加島色彩研究所の加島隆徳は人体に対し色彩は物体波長技術を生んで専門家を通して、患者の量子力学的理論における健康管理領域で起こる作用機序を紹介した。すなわち色彩は物体波長を生んで健康的な身体に改善するよう処理するという、生物における色彩の波長は物体波長を生む1種類で、その治療概念は東洋の伝統医学理論を結合して西洋の細胞分子生物学的観点から生命科学を土台とした再生医学理論を臨床に応用したもの、生命科学と標準医学理論を基礎として、細胞水準から把握した病原体と、各種細菌、ウイルス類などによる様々な物質の波長を色彩に置き換えた布を使用する事により、現代医学的接近法との互換性に優れていると言える。生物の有機体は全て細胞によって構成されており、単独の細胞は成長し分裂した過程では全て規則正しく変動することができます。生体はこの種類の変動を通して、エネルギーを使用することで生まれた老廃物を代謝によって排出し、自然体を維持している。各種の波長は各種の色に対応していて、身体病変部の波長の変化を検査することを通して、それ相応の細胞運動した変化を推測することができる。これに対し色によって、すなわち外部の波長エネルギーを使って身体病変部に細胞運動共鳴効果を誘発し、病変細胞に従来の運動規律を回復させて、正常細胞に回復する。(日本語訳)



加島色彩研究所 加島隆徳 主題演目：色彩波健康判断与調理法



生物色彩波動科学応用専門家治療所の開所式

加島春來会長が主導する生物色彩波動科学応用専門家治療所は、主に身体の免疫システムの第3理論体系を用い治療している。また、人体細胞運動学と量子力学を研究し、色彩の波長を応用し、身体の異常を判断し治療する技術を用いて、色彩の治療器具などを生産している。(日本語訳)



会場で配られたパンフレット



会場では、4名をパネルにして紹介して頂きました。

加島 春來 会長
須山 健司 先生
矢野 徳嗣 先生
加島 隆徳 先生